

学生の双方向交流の推進

(平成24年度予算額：342億円)

平成25年度予定額：335億円

[うち重点要求 52億円]

(内訳)	政府開発援助外国人留学生給与 留学生交流支援事業費補助金	等	247億円(248億円)
	政府開発援助(独)日本学生支援機構運営費交付金 及び(独)日本学生支援機構運営費交付金		88億円(94億円)

背景・課題

○海外の大学等で学ぶ日本人留学者数は2004年をピークに減少傾向。

○我が国で学ぶ外国人留学生数は総じて増加傾向にあるが、「留学生30万人計画(平成20年7月)」の実現に向け、優秀な外国人留学生の戦略的獲得が必要。

対応・内容

【対応】

○日本人学生の海外交流のための奨学金の充実
海外での学位や単位取得を目的とする日本人学生の海外交流を強力的に推進。

○外国人学生の受入れ環境の充実
日本留学に必要な情報の提供や渡日前入学等の推進並びに奨学金等、入口から卒業・修了後の就職まで一体的に支援。

【内容】

◆海外での情報提供及び支援の一体的な実施 5億円(±0億円)

○日本留学フェア及び日本留学試験の実施等

◆日本人学生の海外交流の推進

36億円 (+5億円)

○日本人学生の海外派遣と留学生短期受入れを
一体とした交流事業（派遣分）

①長期派遣（1年以上） ・学位取得を目指し、海外の大学に留学する 学生に奨学金を給付（200人→200人）	【重点要求】	4億円（±0億円）
②短期派遣（1年以内） ・大学間交流協定等に基づき海外の大学に短期留学する 学生に奨学金を給付（8,580人→10,000人）※1,420人増 ※申請要件や審査を厳格化し、3月未満に特化した事業を廃止すると ともに、3月以上1年未満の事業を見直した。		31億円（+4億円）

◆留学生の受入れ環境の充実

294億円 (△12億円)

○外国人留学生奨学金制度の充実

267億円 (△10億円)

①国費外国人留学生への奨学金の給付 (11,006人)

187億円 (±0億円)

②私費外国人留学生への文部科学省学習奨励費の給付
(10,100人)

64億円 (△3億円)

③日本人学生の海外派遣と留学生短期受入れを
一体とした交流事業（受入れ分）

16億円 (△6億円)

ア. 短期受入れ（1年以内） ・大学間交流協定等に基づく短期留学生に 奨学金を給付（5,000人）	【重点要求】
※同上	

○留学生の就職支援

0.1億円 (±0億円)

・外国人留学生就職指導ガイダンス、外国人留学生就活準備セミナーの開催

政策目標

「留学生30万人計画（平成20年7月）」等の実現に向け、学生の双方向交流を推進するため交流経費を措置し、2020年までに、優秀な外国人学生30万人の受入れ等を目指す。

グローバル人材育成推進事業

(平成24年度予算額：50億円)

平成25年度予定額：45億円

国際化拠点整備事業費補助金

背景・課題

- わが国の学生が内向き指向にあると指摘される中、世界で活躍する優れた人材の育成を強化するため、国際的に誇れる大学教育システムを構築するとともに、日本人学生等の海外交流を促進することが重要な課題。

対応・内容

【対応】

- 国際的な産業競争力の向上や国と国の絆の強化の基盤として、豊かな語学力・コミュニケーション能力等を身につけ、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材の育成を図るため、学生のグローバル化を推進する組織的な教育体制の整備を支援。

【内容】

○ グローバル人材育成推進事業	45億円
	163,260千円 × 11件
	86,650千円 × 31件

大学の教育目的等に応じたグローバル人材育成像とそれに必要な能力・達成すべき水準、大学の国際通用力向上のための指標等の目標値を設定。

上記の目標達成のため、以下の学生のグローバル化を推進するための組織的な取組を支援。

- ・ グローバル人材として求められる能力を育成するための取組
 - 現地企業インターン等グローバル人材育成プログラムの開発
 - 留学先の国における日本語指導支援 等
- ・ 教員のグローバル教育力の向上の取組
- ・ 学生の留学を促進するための環境整備
- ・ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

政策目標

- 豊かな語学力・コミュニケーション能力等を身につけ、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できるグローバル人材の育成

大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業

(平成24年度予算額：26億円)

平成25年度予定額：23億円

国際化拠点整備事業費補助金

背景・課題

- 世界の有力大学間の競争が激化する中、我が国の大学の国際化は不十分。特に外国人学生比率や外国人教員比率は低調。
- 優秀な外国人学生や外国人教員の受入れを促進することにより、我が国の大学の国際化を推進することが必要。

対応・内容

【対応】

- 国際化の拠点としての総合的な体制整備を図るとともに、産業界との連携、拠点大学間のネットワーク化を通じて、資源や成果の共有化を図り、質の高い外国人学生の戦略的受入を推進する取組を支援。

【内容】

- 大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業 23億円
179,361千円 × 13件

英語による授業のみで学位が取得できるコースの設置、海外共同利用事務所を通じたワンストップの対応など国際化の拠点としての総合的な体制整備を図るとともに、産業界との連携、拠点大学間のネットワーク化を通じて、資源や成果の共有化を図り、国際化に積極的な大学を含め我が国の大学の国際化を推進する。

政策目標

- 国際化の拠点となる大学間のネットワーク化、国際化に積極的な大学との連携を図り、我が国の大学の国際化を推進することにより、国内外の優秀な学生の受入を促進し、グローバルな社会で活躍できる人材の育成を図る。

大学の世界展開力強化事業

(平成24年度予算額：27億円)
平成25年度予定額：28億円

国際化拠点整備事業費補助金

背景・課題

- わが国の学生が内向き指向にあると指摘される中、世界で活躍する優れた人材の育成を強化するため、国際的に誇れる大学教育システムを構築するとともに、日本人学生等の海外交流を促進し、質の高い外国人学生の戦略的獲得等を図ることが重要な課題。

対応・内容

【対応】

- 国際的に活躍できるグローバル人材の育成と大学教育のグローバル展開力の強化を目指し、高等教育の質の保証を図りながら、日本人学生の海外留学と外国人学生の戦略的受入を行うアジア・米国・欧州等の大学等との国際教育連携の取組を支援。

【内容】

- 海外との戦略的高等教育連携支援 4億円【新規】

56,993千円 × 5件

28,193千円 × 5件

欧州連合、東南アジア教育大臣機構等との共同による国際的な高等教育連携枠組みのもとで、戦略的な教育連携プログラムを開発・実施。

注) 以下の継続事業については、概要を省略

- 「キャンパス・アジア」中核拠点支援 9億円

平成23年度選定分 54,072千円 × 10件

平成22年度選定分 63,252千円 × 6件

- 米国大学等との協働教育創成支援 6億円

平成23年度選定分 54,072千円 × 12件

- ASEAN諸国等との大学間交流形成支援 8億円

平成24年度選定分 45,567千円 × 14件

平成23年度選定分※ 54,066千円 × 3件

※) 「キャンパス・アジア」中核拠点支援のうちタイプA-IIに選定された3件の組替分

政策目標

- アジア及び米国・欧州等との高等教育ネットワークの構築を図ることにより、我が国の大学の世界展開力を強化し、世界に飛躍するグローバル人材を育成。